

# 守りぬこう 憲法9条

日本共産党

安倍政権は、集団的自衛権行使容認を柱とした「閣議決定」（昨年7月1日）を具体化するための法案を国会提出し、今国会中の強行成立を狙っています。

法案は、米国のあらゆる戦争に自衛隊を参戦させ、日本を「海外で戦

争する国」にする「戦争立法」にほかなりません。憲法9条をまもりぬぎ、違憲立法ストップの国民的な大運動を広げましょう。

いつでも どこでも  
どんな戦争でも  
海外で武力行使可能に

## ストップ! 戦争立法



ほっかい新報

2015年5・6月号外  
発行所／ほっかい新報社

発行所 〒065-0012  
札幌市東区北12条東2丁目3-2  
電話 011(721)2138 (昭和40年8月10日第三種郵便物認可)

日本共産党北海道委員会の見解を紹介します。ご意見をお寄せください。  
日本共産党北海道委員会 ☎ 011-750-1500

折り目

## 「戦争立法」反対の一点で共同し 安倍政権のたくらみ打ち破ろう

「憲法9条のもとでは集団的自衛権の行使は許されない」——これは戦後半世紀にわたり、歴代政権が取り続けてきた憲法解釈でした。それを一片の「閣議決定」で覆し、日本を「海外で戦争する国」につくりかえる。こんな強権・独裁政治があるでしょうか。「戦争立法」を許さず、力をあわせて戦争への道をストップさせましょう。

乱暴な手法でしか自分たちの政治をすすめられないのは、安倍政権の弱さ  
と行き詰まりのあらわれです。

「亡国政治」を許さず、日本に民主主義を取り戻そうではありませんか。

「戦争する国」づくり、原発再稼働、消費税増税——  
**安倍政権の暴走ストップ**  
国民の願いが生きる新しい政治を

国民の声にそむいて、暴走を続ける安倍政権。日本共産党は、悪政をストップし、国民の願いが生きる政治をつくるために全力をあげます。

戦後70年、国民が改憲なしで、何の不都合も感じなかったことが、憲法の国民への定着を証明しています。戦後70年を「改憲の年」にするのは許されません。平和といのち、人権を守り抜くために、この憲法を守り生かしていく決意を新たにしようではありませんか。



# 米の戦争に地球の裏まで

安倍政権がすすめる「戦争立法」は、世界中で米国の戦争に参加・支援する法制、憲法9条の全面破壊です。

## 「戦争立法」の三つの大問題

### 第一 「戦地」まで行って軍事支援

米国が世界のどこであっても戦争を始めたら自衛隊が「戦闘地域」にまで行って軍事支援するものです。これまでの▽戦闘地域には行かない▽武力行使はしない——の二つの「歯止め」を取り外し、

戦地での米軍支援を可能にします。さらに重大なのは、米軍兵士などの「捜索・救出」は「戦闘現場」でも活動を継続すること。「殺し殺される」危険が飛躍的に高まります。

### 第二 PKO法改定で戦乱場所に自衛隊を派兵

PKOとは関係のない活動にも自衛隊を派兵する仕掛けがつけられています。戦乱が続いているようなところに、

自衛隊を派兵して、武器の使用も自己防衛だけでなく、任務遂行のための使用も許されるようにするというものです。

### 第三 無法な侵略戦争にも参戦

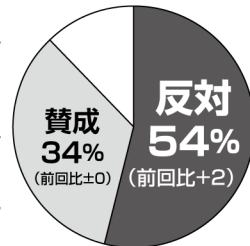
日本への武力攻撃がなくても、集団的自衛権を発動し、自衛隊が海外での武力行使に乗り出すものです。大問題は、集団的自衛権の発動は、とき

の政権の判断で無限定に広がることです。そうならば、「集団的自衛権」でなく「集団的侵略」です。

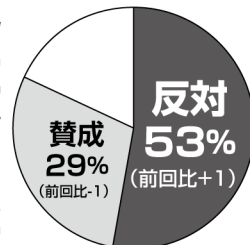
## 「戦争立法」で自衛隊はこんなことが可能に

<b>グレーゾーン</b>	米軍など他国艦船の防護ができる
<b>後方支援</b>	米軍の戦争をいつでも、どこでも支援できる 「捜索・救助」は「戦闘現場」でもできる
<b>PKOなど</b>	「任務遂行」のための武器使用ができる
<b>集団的自衛権</b>	「新3要件」を満たすと判断すれば、日本に対する武力攻撃がなくても、米国の戦争に参戦できる 米国の先制攻撃戦争にも参戦できる
<b>在外邦人救出</b>	武器使用を伴う救出ができる

## 今国会成立、過半数の反対



「毎日」4月20日付



「日経」4月20日付

## 安保法制

### 「とんでもない暴挙」「大きな過ち」

自民党幹事長経験者の野中広務、古賀誠両氏は、安倍政権がすすめる集団的自衛権行使容認

自民党元幹事長 野中・古賀氏が批判

の安保法制の与党合意について「とんでもない法制化」「暴挙」などと強く批判しています。

野中氏「自衛隊を海外に出し、活動範囲を広げたら必ず戦死者が出る」「大変大きな過ちを犯そうとしている」「本当に戦後70年は何だったんだと。悔しくて悔しくて、夜も寝られないほど悔しい」

古賀氏「集団的自衛権の議論から大きく踏み越えている」「『限

定的』と議論してきたが、とんでもない法制化がすすめられようとしている」「自民党の先生方、なんで黙っているんだ。良質な保守派がいっぱいいるはずだから、ここで声を出さなければ日本の平和はどうなっていくのか」(TBS 番組「時事放談」、3月29日放映)